



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社エス・サイエンス
 コード番号 5721 URL <http://www.s-science.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 品田 守敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 甲佐 邦彦

TEL 03-3573-3721

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	521		133		105		110	
2020年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 110百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	1.10	
2020年3月期第2四半期		

(注) 2021年3月期 第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期 第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,158	1,953	90.5
2020年3月期			

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,953百万円 2020年3月期 百万円

(注) 2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第2四半期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200		230		230		220		2.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 2021年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率は記載しておりません。

2. 当予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束の時期などにより、大きく変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、すみやかに業績への影響をお知らせいたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社なごみ設計、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	100,593,749 株	2020年3月期	100,593,749 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,645 株	2020年3月期	1,495 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	100,592,218 株	2020年3月期2Q	100,592,715 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P-3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているため、その収束は依然として見通せない状況にあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、売上高5億21百万円、営業損失1億33百万円、経常損失1億5百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失1億10百万円となりました。

なお、当グループは第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較分析は行なっておりません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ニッケル事業)

前年同期に比べ販売数量が減少したことにより、売上高は2億46百万円(前年同四半期2億82百万円 12.8%減)となりました。

(不動産事業)

販売用不動産の売却収入等があり、売上高は1億7百万円(前年同四半期11百万円 826.2%増)となりました。

(教育事業)

教育事業は前期で終了し、F Cのロイヤルティの計上のみで、売上高は3百万円(前年同四半期9百万円 63.4%減)となりました。

(リフォーム関連事業)

新型コロナウイルスの影響もあり、売上高は1億64百万円となりました。
本年4月に事業を取得のため、前年との比較はありません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は19億60百万円となり、主な内容は現金及び預金8億28百万円、商品及び製品7億55百万円であります。

固定資産は1億98百万円となり、主な内容は営業権(のれん)93百万円であります。

(負債)

当第2半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は1億24百万円となり、主な内容は支払手形及び買掛金41百万円、未払法人税等34百万円であります。

固定負債は80百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、19億53百万円となり、主な内容は利益剰余金の減少によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等品(以下「資金」という)の四半期末残高は、8億13百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は、54百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失1億7百万円、仕入債務の減少1億17百万円、たな卸資産の減少1億75百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により減少した資金は、39百万円となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出70百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は、0.09百万円となりました。

これは主に、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期や経済活動の回復見通しが不透明であることから、2020年8月14日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	828,698
受取手形及び売掛金	180,965
有価証券	137,227
商品及び製品	755,527
仕掛品	9,443
その他	51,561
貸倒引当金	△2,797
流動資産合計	1,960,626
固定資産	
有形固定資産	6,303
無形固定資産	
のれん	93,042
無形固定資産合計	93,042
投資その他の資産	
その他	143,719
貸倒引当金	△44,696
投資その他の資産合計	99,022
固定資産合計	198,369
資産合計	2,158,996
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	41,230
短期借入金	3,000
未払法人税等	34,404
賞与引当金	2,045
その他	43,819
流動負債合計	124,499
固定負債	
役員退職慰労引当金	62,400
退職給付に係る負債	14,685
資産除去債務	1,622
その他	1,853
固定負債合計	80,562
負債合計	205,062

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2020年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,500,000
資本剰余金	821,313
利益剰余金	△367,412
自己株式	△88
株主資本合計	1,953,812
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	121
その他の包括利益累計額合計	121
純資産合計	1,953,933
負債純資産合計	2,158,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	521,253
売上原価	441,279
売上総利益	79,973
販売費及び一般管理費	213,448
営業損失(△)	△133,474
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	4,038
貸倒引当金戻入額	697
有価証券評価益	20,335
受取賃貸料	2,997
その他	1,243
営業外収益合計	29,311
営業外費用	
その他	1,102
営業外費用合計	1,102
経常損失(△)	△105,265
特別損失	
子会社株式評価損	2,707
特別損失合計	2,707
税金等調整前四半期純損失(△)	△107,973
法人税、住民税及び事業税	2,874
法人税等合計	2,874
四半期純損失(△)	△110,847
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110,847

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△110,847
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	120
その他の包括利益合計	120
四半期包括利益	△110,726
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△110,726
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△107,973
減価償却費	1,276
のれん償却額	4,896
子会社株式評価損	2,707
有価証券評価損益(△は益)	△20,335
受取利息及び受取配当金	△4,038
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,016
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,460
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,346
売上債権の増減額(△は増加)	47,240
仕入債務の増減額(△は減少)	△117,837
たな卸資産の増減額(△は増加)	175,184
前渡金の増減額(△は増加)	△35,670
前払費用の増減額(△は増加)	377
未収入金の増減額(△は増加)	△2,164
預け金の増減額(△は増加)	△904
未払金の増減額(△は減少)	△11,211
未払費用の増減額(△は減少)	△1,853
預り金の増減額(△は減少)	13
前受金の増減額(△は減少)	4,153
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	6,988
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△3,124
その他	10,336
小計	△50,808
利息及び配当金の受取額	3,420
法人税等の支払額	△7,354
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,742
投資活動によるキャッシュ・フロー	
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△70,382
出資金の回収による収入	250
預け金の回収による収入	30,000
敷金及び保証金の回収による収入	1,397
その他	△722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,457

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△89
その他	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94,292
現金及び現金同等物の期首残高	907,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	813,698

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間において、株式会社なごみ設計の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前期2020年3月期に投資有価証券の売却により、最終当期純利益を確保したものの、営業損失やマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しました。2021年3月期においては、2020年4月1日に「株式会社なごみ設計」を子会社化し、売上増や営業利益の黒字化を目指して取り組んでおりましたが、コロナウイルスショックの影響が長引き、想定以上にニッケル事業をはじめとする売上の落ち込みが続いており、2021年3月期第2四半期においても、当社グループとして営業損失、四半期純損失を計上しております。

このため「継続的な営業損失又は営業キャッシュ・フローのマイナス」が見込まれ、2021年3月期第2四半期においては、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。当社グループはこの状況を改善するために、新たな資金調達も念頭に置きながら、新規事業の実現化に向けて着手しております。また、子会社化した株式会社なごみ設計におきましても、戦略的な事業拡大を推進しております。

なお資金計画においては、重要な不確実性は認められないため、継続企業の前提に関する注記の必要はないものと判断しております。